

2021年度 入社式を挙行

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：藤岡高広）は、4月1日（木）、当社本館の大会議室において新入社員82名を対象に、「2021年度 入社式」を執り行いました。

今年は昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策のため短時間での開催となりましたが、愛知製鋼社員としての自覚と責任、希望を持つとともに、明るい未来の実現に向け、力を一つにして取り組むことを誓い合いました。

社長挨拶では、電動化による自動車業界の構造変化、脱炭素社会を目指したカーボンニュートラル実現への対応など、当社にとって逆境とも言える激しい環境変化について語りましたが、それらに適応し、生き残っていくためにも、コロナ禍で定着した「新しいビジネス様式」への変革と真の限量経営での基盤強靱化を進めつつ、自動運転実証実験やEV向け電動アクスル、不良土壌での農業を可能にする肥料の開発など、着実に成果を出し始めている新ビジネスに、さらにスピード感を持って取り組んでいくと説明しました。

そのうえで、当社社員の普遍的な価値観・行動規範である「A i c h i W a y」の実践により、共に苦勞を乗り越え大きく成長していこう、と呼びかけました。

これに応じて、新入社員代表は、常に初心を忘れず「A i c h i W a y」の精神を一人ひとりが実践し、会社の明るい未来を共に担っていく強い意志を表明しました。

これからも、この転換期を社員一丸で乗り越え、2030年ビジョンの実現、そして未来の年輪的成長に向けて取り組んでいきます。



入社式の様子



新入社員代表から決意を表明しました